

平成18年度 次世代高度ネットワーク推進会議 活動方針(案)

次世代高度ネットワーク推進会議
幹事会 代表幹事
青山 友紀

基本方針

将来のIT分野の研究開発・未来のIT社会を展望

IT基本法 (高度情報通信
ネットワーク社会形成基本法)

e-Japan 戦略 (H13)

e-Japan戦略 (H15)

次世代の高速ネットワークを先導する
先端基礎技術の研究開発の継続とテ
ストベッド(実証実験)ネットワークの
整備

u-Japan政策 (H16)

ユビキタスネットワーク社会の実現に
向けた総合的な研究開発の展開
(2010年価値創発)

UNS戦略プログラム (H17)

ユビキタスネット社会に向けた研究開
発のあり方について

国家戦略
の具体化

JGN成果の
普及・深化



将来のIT社会への貢献

広範囲な情報通信技術の
研究開発

産・学・官・地域との連携

地域の研究活動の活性化

人材の育成の促進

国際的な連携・協調の促進

H18年度の活動内容(1)

広範囲な情報通信技術の研究開発

- 次世代ネットワーク技術、光通信技術等、最先端の情報通信技術に関する研究開発を推進する。
GMPLS、フォトニクス、量子光通信、グリッド等
- 各種の実証実験等を通じて、情報通信技術の実社会における適用等、実用化に向けた展開を促進する。
IPv6マルチキャスト等
- 光テストベッド等を活用したテラビット級をめざした情報通信技術の研究開発を推進する。

地域の研究活動の活性化

- 全国64箇所のアクセスポイント、7つのリサーチセンターを基点とした地域との連携を推進する。
- 地方自治体、JGN 地域協議会等と協力し、地域ネットワークとの相互接続等を推進し、地域の研究活動環境を広げる。

H18年度の活動内容(2)

国際的な連携・協調の促進

- ▶ JGN の米国、タイ、シンガポール回線を利用した研究開発を促進し、グローバルな展開を図る。
具体的な国際共同プロジェクトの立ち上げに積極的に取り組む。
SC06等の国際的なデモにも積極的に参加、JGN の普及促進に努める。
- ▶ 国際的なコミュニティー等との連携を推進する。
GLIF、ONT3、APAN、Internet2等の国際的なコミュニティー及びIEEE等の国際学会等との連携及び関連するプロジェクトへの関与を推進する。
国際会合の主催等
 - ・ 2006年9月、GLIF及びONT3の開催(東京:秋葉原)
 - ・ 2007年1月、JGN シンポジウムをIEEE SAINTと共催(広島)

